

特集01 資格・検定試験合格祝賀会

努力したら身についた!合格を勝ち取れた!大きな自信になった!

3月5日八尾駅前キャンパスにおいて開催された「2014年度 資格・検定試験合格祝賀会」には、今年度資格・検定試験合格者1,080名(2015年3月4日現在)のうち約150名の学生や多数の関係者が出席しました。合格を勝ち取った学生が、賞状・記念品を授与されスピーチで今後の抱負を語る姿は、資格取得をめざして努力を重ね合格を勝ち取った自信に満ちあふれ、将来に向けて力強く歩んでいる様子がうかがえました。

川口 将輝さん
経済学部1年生 香川県立坂出商業高等学校出身
■日商簿記検定1級 取得
■基本情報技術者試験 合格
高校時代から会計士になりたいと思って勉強してきました。大学に入ってから日商簿記1級をパスできてよかったです。次は2016年度に公認会計士の資格取得をめざしています。

加賀 舞雪さん
経済学部3年生 大阪府立清水谷高等学校出身
■日商簿記検定1級 取得
■MOS(パワーポイント)取得
自分がやりたいことの延長上に資格があり、勉強するのも楽しく充実感がありました。まずは就職して経済力を付けてから、公認会計士をめざしたいです。個人面接の対策は大学に感謝しています。

井上 厳さん
法学部4年 大阪府立桜塚高等学校出身
■公務員採用試験 合格 (枚方市役所)
市民祭りのイベントで地域の人たちと交流した体験が、公務員になりたいと思ったきっかけです。Sコースで勉強する中で役のめざす公務員像ができました。個人面接の対策は大学に感謝しています。

田中 百恵さん
経済学部4年生 大阪府立長野高等学校出身
■公務員採用試験 合格 (大阪府庁)
本学では経済学部在籍でも法学部の科目を学ぶので、公務員試験に必要な法律を勉強しました。学んだ社会保険の知識や、取得した日商簿記2級、FPなどの資格を活かして、社会福祉や財務の仕事に携わりたいです。

特集02 就職内定者インタビュー

積み上げた努力とサポート体制が大きなパワーに!見つけた目標を信じてつかんだ夢!

株式会社沖縄海邦銀行 入社 兼次 克尚さん
(法学部4年生) 沖縄県立星丘高等学校出身
野球部で培った責任感と管理能力向上が大きな自信に。
銀行員の父親が強い責任感を持って仕事に取り組む姿を見て、魅力を感じ、就職支援の力強いサポートのある本学に憧れ、入学しました。野球部で、学習やスケジュールの管理、主将の経験を通して管理能力が身に付き、責任感も強くくなりました。

京都府警察本部 入職 藤田 一輝さん
(法学部4年生) 京都府立北嵯峨高等学校出身
学力向上が何よりの自信に。努力を重ねて勝ち取った内定!
高校時代から野球で鍛えられた体力と、正義感の強さから警察官になりたいと考えましたが、入学後、それには学力の向上が不可欠と実感しました。Sコースやゼミなどに積極的に参加するうちに、次第に成績も上がり自信が身につきました。京都府警の試験は厳しいものですが乗り越えられて嬉しい限りです。

防衛省陸上自衛隊 入職 香西 遼一さん
(法学部4年生) 鹿児島県 京極高等学校出身
プレッシャーに負けない「強い心」と入学以来の「筋トレ」で慣れた自衛官に。
高校生のころから警察官が自衛官になるのが目標で、迷わず公務員コースへ。入学後、1年生のときから自主的に筋トレをして体作りを頑張りました。就活では、勉強はもちろん、面接のプレッシャーに負けない強い心を育てることも大切。私の場合、3年生の時から警察や自衛隊に何度も足を運んで「本物の面接」を受け、度胸をつけました。

株式会社そごう・西武 入社 矢倉 一生さん
(法学部4年生) 大阪府立わかち野高等学校出身
就職実践Campで学んだ自己PR法が活きた就職活動。
インターンシップで興味を持った一般企業を志望して内定を獲得しました。短所と自覚を「おせっかいな性格」を、志望していた百貨店に欠かさない「おもてなしに導いた性格」というように、自己PRでできたことが内定につながったと考えています。

神奈川県小田原市消防本部 入職 三橋 洸介さん
(法学部4年生) 神奈川県立三浦郡高等学校出身
二次〜三次面接のより専門的な質問にもキャリア支援課での面接練習が役に立つ!
新潟県中越地震でのレスキュー隊の活躍を見て、消防士を志しました。就職活動では、大学のキャリア支援がとても役に立ちました。二次〜三次面接で履歴書の書き方を添削していただいたことも役立ちました。それらが自信になり、面接で笑顔を絶やさずに受け答えできたことが内定獲得につながったと思います。

株式会社万代 入社 西田 哲さん
(経済学部4年生) 大阪府 浪速高等学校出身
本学のシステムを活用し取得したパソコン資格を武器に就職活動!
MOS、WORDといったパソコンの資格を多数取得できたことが就職活動の大きな武器になりました。キャリア支援課で履歴書の書き方を添削していただいたことも役立ちました。それらが自信になり、面接で笑顔を絶やさずに受け答えできたことが内定獲得につながったと思います。

トランスコスモス株式会社 入社 浅野 裕樹さん
(法学部4年生) 大阪府立淀川工科高等学校出身
ものの考え方が変わった、日本人一人で飛び込んだ韓国留学。
本学から韓国へ1年間留学し、日本人学生は一人という環境の中で、現地の韓国語を学び、他国の人の新鮮な考え方に触れて大きな刺激になりました。それがきっかけになり、人の個性を活かして育てていくことに興味を持ち、内定先の人材育成も兼ねたマネジメントの仕事に就きました。面接で、多岐的な物の見方で対応できたことが内定につながったと実感しています。

鳥取県警察本部 入職 古河 慶子さん
(法学部4年生) 鳥取県 星桂国際高等学校出身
一度失敗した内定先に、再度挑戦してつかんだ夢!
高校時代、悩んでいた時に周囲の方々に支えられた経験から、将来は人の助けになりたいと思い、警察官を志望しました。本学では数回の面接などの勉強に毎日取り組み、一度失敗した内定の2次試験にあきらめずに挑戦して得られたこの結果は本当に嬉しい。キャリア支援課の面接練習で指導された点を改善して、本番に臨めたことが大きかったです。

株式会社鈴乃屋 入社 藤原 夏香さん
(経済学部4年生) 広島県立上下高等学校出身
興味を持って取得した販売士資格を活かせる喜び!
アパレル販売の仕事に興味があり、本学で販売士2級の資格を取得しましたが、店舗では雑誌やインターネットで見つけた商品のみを買う方が増えていることを知りました。そこで結婚式など人生の節目に使う高級なアパレルなら、学んだ接客を現場で活かせると考えました。本学で接客を客観的に見る目を養ったことが、就職先の選択に役立ちました。

公益財団法人 天理よろづ相談所病院 入職 泉井 沙加さん
(法学部4年生) 奈良県 天理高等学校出身
自分らしさを大切に、自分自身に正直に!それが自分に合った仕事を見つける近道!!
高校時代にサッカー部のマネージャーをしていて、部員を励ますための思いやりや気遣い、ホスピタリティが良かった。と言っていた。経験した金融業界の面接の厳しさや、あきらめないことの大切さを後輩たちにも伝えたいです。仕事に必要な証券外務員の経験もクリアし、いよいよ社会に就くという気持ちでいます。

株式会社みずほ証券 入社 林 宏美さん
(経済学部4年生) 大阪府 金剛高等学校出身
失敗を乗り越えられたのは、目標への強い気持ちがあったから。
面接では、大きな失敗を2つもしてしまいましたが、あきらめずに真摯な姿勢で積み、面接官の方に「積極的な対応力が良かった」と言ってくれました。経験した金融業界の面接の厳しさや、あきらめないことの大切さを後輩たちにも伝えたいです。仕事に必要な証券外務員の経験もクリアし、いよいよ社会に就くという気持ちでいます。

海外プロジェクト グローバルキャリア体験IN

東南アジア Vietnam & ヨーロッパ イタリア・フランス Europe

Vietnam グローバルキャリア体験INベトナム 2015

グローバルに活躍する人と企業に触れた8日間。

学生たちが初めて見るハノイの街はバイクの群れとクラクションの騒音にあふれ、まずは道路横断の怖さを体験。緊張感とともに始まったベトナム研修でしたが、国民平均年齢25歳というこの国の活気に触れることで、男女10名の学生たちはこれから始まる海外キャリア体験に胸を躍らせた。今回の海外インターンシップの目的は、ベトナムに進出している日系企業を視察し、海外で働くことのやりがいと求められる資質を理解すること。そのために、まずハノイに入り、その後ホーチミンに移動しながら、現地へ進出した日系企業を訪ねた。今回は、八尾市の株式会社ヤハタ、株式会社神明、大阪市の株式会社ソルテック工業、ベトナムとつながりの深いこれら3社の多大な協力により充実したプログラムになりました。

最初に訪問した「BUNKA VIETNAM Co., Ltd.」(本社:株式会社文化シャッター)は、6年前にハノイへ進出し、日本とベトナム向けの製品を製造しています。ベトナムでは火災が多いことから特に防火・防災の製品に力を入れていると説明があり、参加メンバーで消防士志望の学生が積極的な質問をしたことから、活発な質疑応答が行われました。

次に訪問した「IGLOLOCAL Co., Ltd.」はハノイをはじめ、ホーチミン、プレンペンに支店を持つ、東南アジア一帯の日本企業進出をサポートしている会計コンサルティング企業です。固定アスクが自由に動き回れる明るいオフィスで、日本人コンサルタント2名の懇話が行われ、ベトナムで働くきっかけや学生時代のことなどいろいろな経験を聞かせていただきました。くに「2年生の終わりに海外に出て多くの経験を積んだ」というキャリアストーリーに、学生たちはかなりの刺激を受けていました。

ハノイ初日の最後には「H&S T&C DESIGN JOINT STOCK COMPANY」(設計デザイン)には株式会社神明の出張所があり、学生たちは通訳を介して現地の社員と意欲的に交流しました。

日本を飛び出して働く人々とホットに交流
タンロン工業団地で見え始めた将来のビジョン
ホーチミン市で実感したグローバルな世界

気温35度前後、太陽が照りつける真夏のホーチミン。暑さにも負けず、到着後すぐに訪問したのは「EVOLABLE ASIA Co., Ltd.」(ITラボ、システム開発)。2年前に50名のエンジニアでスタートし、現在は500名規模にまで急成長しています。さらに2年後には1000名、5年後には5000名規模をめざして運営しているという、まさに壮大な事業計画を聞かせていただきました。担当者から、誰もが大きな可能性を持つベトナムという国の可能性について、学生たちに熱く語っていただきました。この頃から参加学生の多くが今後の留学を視野に入れ始め、ふたたび海外体験をしたいという声が上がってました。

翌日、ランチャック工業団地の中にある「SOLTEC VIETNAM」(本社:株式会社ソルテック工業)を訪問し、同社がどのようなソリューションのもとにタイやインドネシアで事業展開を行っているかの説明を受け、工場内を視察しました。昨年に比べ従業員は5割増し、売上も年々右肩上がりということで、この視察を通して学生達は改めて日本人のグローバルな活躍を肌で感じました。

最終日、ホーチミン市内で「日本企業を探そう」という課題が出され、グループに分かれて高層ビル群を中心に課題に取り組みました。ビルの入り口で門前払いを受けるなど悲観苦悶しながらも、課題を達成して1日全員のベトナム進出の熱気や体感することができました。

Europe グローバルキャリア体験INヨーロッパ

芸術とファッションの都で夢を磨いた、12日間の海外インターンシップ。

パリ、フィレンツェ、ミラノ。音楽、ファッションの分野でキャリアを築きたいと望む、誰もが憧れるヨーロッパの都市。株式会社ハヤシゴの海外インターンシップでこれらの「美」の本場へ出かけた学生たちは口を揃えて「日本にいただけでは得られない貴重な体験ができた」と振り返っています。そしてもうひとつ実感したのは、実践的な語学を身につけたことの大切さでした。

歴史に裏打ちされた自信が漂うパリ
靴の歴史の奥深さに感動したフィレンツェ
プロの仕事に触れ、将来のビジョンが見えたミラノ

今回のヨーロッパ視察の最中、学生たちが最初に訪れたのはフランス、パリ。美術館めぐり、パリ中心街でのマーケティング、凱旋門などの観光地を訪れるフリータイムなど、学生たちは異国文化を貪欲に吸収する3日間となりました。

これまで耳でしか知らなかったモネの「睡蓮」、ピカソの「オセロ」など、名画に出会うことの価値と感動を学生たちは体験。その感動がヨーロッパの歴史や文化に対する尊敬の気持ちを生み、世界的有名ブランドのショップを探索するマーケティングにも生かされました。ある学生は、同じブランドの衣料品であっても、日本とパリではディスプレイのやり方が違い、パリでは色合いを見せる「提案型」であることに気がつきました。「自分たちの歴史や文化に誇りを持っているからこそ、提案ができる」と彼は語っていました。

次に訪れたのはイタリア中部の古都、フィレンツェ。15世紀ルネサンスの中心となり、ドゥオーモと呼ばれる大聖堂が点在するフィレンツェは、街そのものが芸術品のような美しさで学生たちを魅了しました。そして世界的トップブランドが運営するフェラガモ美術館では、驚きと発見でワクワクしながら「靴」の歴史を学ぶことができました。「靴と靴のコーディネート」の大切さにも触れ、学生たちは自分たちのファッションセンスを磨くヒントもたくさん獲得しました。

フィレンツェでイタリアの明るさと色彩の豊かさに馴染んだ学生たちは、いよいよ世界のファッションの中心地、ミラノに到着。陽気な社交的な人々がカラフルで賑やかな街に落ちる美しさで行き交う光景にまず、学生達は目を奪われました。日本でも幅広い世代に人気の高いブランドの本店や、ミラノの中心地にある百貨店リナサヤなどではじくりとマーケティングの取り方などを実地で見学しました。バイヤーをめざす学生はもちろん、海外でのビジネスを志すすべての学生にとって、将来のビジョンを明確に描く貴重な体験となりました。

CareerVision

Vol.08

[キャリアヴィジョン]

2015.04.03

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS AND LAW
大阪経済法科大学/経済学部(経済学科・経営学科)/法学部(法律学科)
大学院/経済学研究科

ありのままの自分を輝かせる努力こそが、就活に勝利する王道だ!!

Career Vision

キャリアビジョン

熱い気持ちで!3年生(2016年卒)の就活がスタート!

<日程>
2/25
(1日目)

就勝実践Camp

模擬採用試験で鍛えぬく3日間! 人事担当者や先輩から伝授された内定獲得のコツとは?

今年から就職活動解禁日が3月1日となり、その直前の2月25日~27日に「就勝実践Camp」が開催されました。4回目となる今回は学生128名が参加。就活ガイダンス、本番さながらのグループワーク、個人・集団模擬面接、企業人事担当者や就職が内定した先輩によるパネルディスカッションといった、貴重な情報満載のプログラムを体験。どの会場も目を輝かせる学生たちの熱気にあふれていました。

就勝実践Camp プログラム紹介

☆就活ガイダンス① 「就職活動の流れ・面接対策」

就職活動解禁日変更に関わらず、内定獲得への対策を練る。

就職活動解禁日が変更され、「会社説明会・書類選考は3月から、面接選考は8月から」に「後者倒し」になるとされていますが、他校では早くも内定者が出ていたり、本学にも「1day(2day)インターンシップ」と呼ばれる採用直結型インターンシップを経験した学生が相当数いるなど、実質的な就職活動はすでに数か月前から始まっています。しかし、決して手遅れではありません。これから志望する企業への内定を獲得するため、ぜひ知っておいてほしいことは、内定が取れない主な理由です。それは、①就職活動への出遅れ・準備、②就職活動の作戦ミス、③志望動機が弱い、以上3点。これらに共通するのは、有名大企業の志望にこだわりすぎて、中小企業を含めた業界自体を研究できていないことです。中小企業の求人情報の豊富さを知り、業界企業研究を綿密に行って下さい。また、採用選考で求められることを十分把握し、これを踏まえた自己PRや志望動機を採用側に伝えて下さい。3日間のプログラムの先頭を切って伝えられたキャリア支援課からのメッセージを、自らの就職活動に活かそうと学生たちは真剣な表情でメモを取っていました。



とにかく「楽しもう」そんな気持ちで参加!

●八幡 有佳さん 経済学部3年生
大阪府 大阪学園大阪高等学校 出身
グループワークでは、誰がリーダー役の人がいれば、自分はフォロー役に徹しようと思っていましたが、結果的に自分がリーダー的な役割をすることに。元気のいいけれど、時として冷静さを失う自分に気づきつつ、とにかく「楽しもう」として頑張りました。

1日目: 内定者 パネルディスカッション

『就活の現実』を語る内定者を獲得した先輩の声に感動!

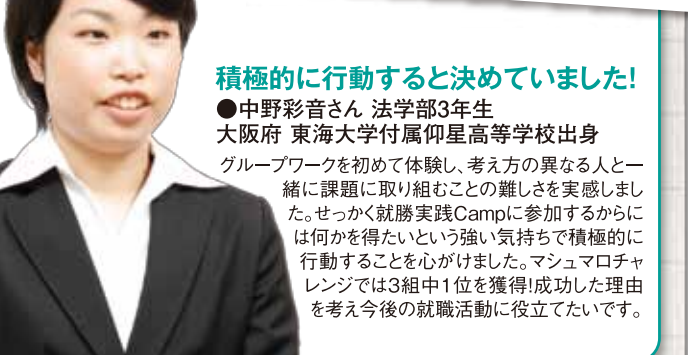
「就活体験とは」「先輩へのアドバイスは」内定を獲得した先輩のリアルで温かいコメントに、受講生たちはたくさん気づきと励みを受け取りました。多くの先輩が強調したのは、親身に指導する先生やキャリア支援課スタッフの強力なバックアップなど、本学には就活を支える最高の環境が揃っていること。「一人で悩まないで!」という心強いエールに、皆は勇気づけられたようです。



☆グループワーク①

共同作業の中で、課題達成に貢献する役割を探して行動する。

面接試験でも行われるグループワークを2日に分けて体験。1日目は自己紹介を行い、チーム名を決めた後、社会人研修などでも行われる「マシュマロ・チャレンジ」に挑戦しました。グループワークを通して「情報の共有」「情報の優先順位を決める」「共同作業を行う」ということを学び、自分の能力を最大限に活かしながら、チームが丸となるように熱心に取り組みました。



積極的に行動すると決めていました!

●中野彩音さん 法学部3年生
大阪府 東海大学付属仰光高等学校 出身
グループワークを初めて体験し、考え方の異なる人と一緒に課題に取り組むことの難しさを実感しました。せっかく就勝実践Campに参加するからには何かを得たいという強い気持ちで積極的に行動することを心がけました。マシュマロチャレンジでは3組中1位を獲得!成功した理由を考え今後の就職活動に役立てたいです。

<日程>
2/26
(2日目)

就勝実践Camp

現役の人事採用担当者の声が聞ける! 本番さながらの緊張感を持って面接特訓。

「就勝実践Camp」に参加した学生で、一番緊張した場面という声が多いのが模擬面接。この2日目、3日目で個人模擬面接・集団模擬面接・グループディスカッションなどを経験する中で、学生たちは指摘されたことを修正しながら本番への対応能力を向上させていました。

☆内田クレペリン検査 本番前に実物の検査で性格・心理を分析。

民間企業や公務員の採用試験で行われることの多い内田クレペリン検査を、体験しました。これは簡単な計算を繰り返し行うことで、全体の作業量・誤差の数・作業量の推移のデータを取り、性格や心理を分析する検査です。試験会場の雰囲気やそのま体験できる貴重な機会となりました。



キャリア支援課 オープンキャリアカウンセラー
特定非営利活動法人
日本キャリア開発協会 認定 CDA
糟谷 映美子

私の座右の銘
「災い転じて福となす」
(『戦国策』燕策下)

「自分の身にふりかかった災難や失敗をうまく利用して、逆に自分に役立つものとして利用すること」を意味します。「失敗は成功のもと」「ケガの功名」とも言えますね。失敗すれば、その原因を知ること、対策を立てて次に備えることができます。あるいはその失敗が、新たに何かを始めるきっかけになることもあります。失敗によって人は磨かれ、成長していきます。だから、失敗を恐れる必要はありません。実は、本当の失敗とは「何もしないこと」。何もせず立ち止まっているより、失敗しながら前に進む方が、はるかに多くの経験値を積み重ねることができますよ!

楽しかったグループワーク、厳しかった面接練習!

●高井 遼太さん
法学部3年生 三重県立伊賀白鳳高等学校 出身
これまで支えていただいた方々に恩返しをしたいという気持ちで、困っている人に手を差し伸べられる警察官をめざしています。グループワークでは先生や先輩、同級生と積極的に情報をやり取りできて楽しめました。個人面接の特訓では高い評価をいただき自信を持てましたが、欠点も指摘されたのでこれを就職活動に活かしたいです。

「目から鱗」のマナー講座で就活パワーもアップ!

●長谷川 由貴さん
経済学部3年生 富山県立新川みどり野高等学校 出身
マナー講座では、面接時の立ち居振る舞いや、面接会場への出入りや仕度なども指導していただいて、とても役に立ちました。個人面接、集団面接ではやはり決める作業不足を痛感。自己PRの言葉は考えていても、なかなか自分の言葉で話せないものなんですね。

☆グループワーク②

チームで高めた、コミュニケーション力と論理力。

論理ゲームをグループワークで取り組み、グループワーク①での経験を基にチームワークをさらに高めました。2日目となる今回は、タイムキーパーやまとめ役などの役割分担を素早く決めて作業を進める班が増え、積み重ねた経験による効果が表れていました。



自分にとっての課題が見つかりました。

●浅田 将裕さん 経済学部3年生
兵庫県 日生学園第三高等学校 出身
前回参加した経験から、グループワークではリーダーシップが発揮できたが、面接では「志望理由を固めていく必要がある」とアドバイスを受けた。企業への志望理由を固めることで課題が見つかり、とても良い経験ができたと思います。

就活のスタートラインに立てました!

●康原 佳那さん 経済学部3年生
大阪市立咲くやこの花高等学校 出身
個人面接を受けてみて、ほんとうに準備不足だなと思いました。実は、自分の強みである「責任感」や「リーダーシップ」「考える力」などをアピールしたかったんですけど、自分の言葉で上手く伝えることができていませんでした。感謝に伝えることができたことが良かったです。

熱い就勝実践Campの雰囲気自分の力に!

●杉本 真奈さん 法学部3年生
広島県 新庄高等学校 出身
参加者がやる気にあふれていて、その空気に気持ちが高まりました。模擬面接は初めてで、個人面接は緊張して周囲も見えない状態でしたが、集団面接で人の話を聞きながら順番に答えているうちに落ち着きました。公務員志望ですが情報系を専攻する企業への研究が足りなかったことが分かったので改善し本番に臨みたいですね。

☆企業人事担当者本音トーク: 採用試験ではここを観る! 「企業が求める人材とは?」が本音で語られた、面接へのヒント満載のトークセッションでした。



株式会社ビケンテクノ
人事部長 清水章男氏
部活でも勉強でも趣味でも、何かやりかけた経験を持つ人は会社にとって大きな魅力です。



株式会社コノエ
管理部人事課係長 下中貴美子氏
新しいアイデアを持っている、有言実行してくれる人、人を入れてくれると嬉しいですね。



株式会社ワンダイニング
人事担当責任者代理 田中秀樹氏
緊張するのは当たり前。でも志望先の企業と共通する点を探して話しかけることで、不安はなくなります。



大阪経済法科大学
公務員特別演習担当 西口香規氏
求めるものは当たり前。でも志望先の企業と共通する点を探して話しかけることで、不安はなくなります。

<日程>
2/27
(3日目)

就勝実践Camp

集団面接の厳しい特訓が、大きな自信と力に!

☆集団面接

面接官のきめ細かなチェック! 修正の積み重ねが成功への秘訣!

模擬の集団面接は6人ごとに分かれて実施され、自己紹介、自己PR、テーマに沿った様々な質問に自分の言葉で面接官に伝えます。座る姿勢、自己PR、志望動機などについて受ける個別のアドバイスに自分なりに理解を深め修正し、本番への備えを万全なものにしていきます。

面接で積極的に自分の問題点を逆質問!

●永田 華蓮さん 法学部3年生 奈良県立十津川高等学校 出身
「営業向き」と言われる割には、面接の場でなかなか自分を売り込めないので、訓練のときに自分から問題点を尋ねたところ、自己分析が少なかったのでは?と指摘を受けました。そう言えば、志望職種にもまだ迷っている自分だったので、自分を見つめることの大切さ気づかされました。

質問に対して具体的な意見を述べる訓練を重ねる。

公務員採用試験で出される質問を中心に、自分の意見を述べる練習の場となりました。服装や話し方がグループの中でどう映ったかといった個別の指摘に、学生たちは面接官への質問を行うなど改善する方法を探り、集団面接への対応能力を高めました。

緊張の集団面接でボランティア活動をアピール!

●板東 翼さん 法学部3年生
大阪府 関西福祉科学大学高等学校 出身
公務員になって、困っている人たちのケアをする仕事をするのが夢なので、大学でサークルを立ち上げて、地域でボランティア活動をしていることを話しました。緊張して、思ったことを最後まで話せなかったが、キャンパスに積極的に参加できたことが今後の自信につながりました。

就活というプレッシャーに負けないために!

●吉野 那月さん 法学部3年生
広島県 比治山女子高等学校 出身
就職活動にプレッシャーを感じている私にとって、パネルディスカッションでの「何事も楽しみ」という先輩人事担当者の話が印象的でした。個人面接でも頭の整理ができず、言いにくいことがうまく伝えられなかったのですが、これからは考えをきちんと話せるようになりたいですね。

反省点を面接の本番で必ず活かす!

●稲垣 綾さん 経済学部3年生
兵庫県 育英高等学校 出身
個人面接の特訓は初めての経験で緊張もあり、自己PRがなかなかいけなかった。面接の場で指摘された点に反省点を活かして臨んだ翌日の集団面接では納得できる結果が得られました。ここでの貴重な経験を必ず本番に活かしたいと思います。

さわやかな第一印象は、内定獲得の強い味方! ビジネスマナー対策

Vol. 8

「笑顔」と「お辞儀」のマナー 就活虎の穴道場

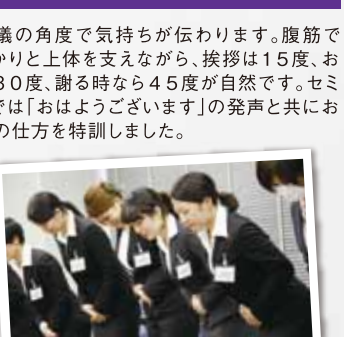
マナーを身につけて人柄の良さをアピール

マナー1 あいさつ時の笑顔

アハハハと笑うのが満開の笑顔だとすると、挨拶をする時には三分咲きの笑顔が自然です。歯をほとんど見せずに口角を少し上げるのがポイント。「イー」と言ってから口を閉じるとこの笑顔に、鏡を見ながら練習しましょう。

マナー2 お辞儀の仕方

お辞儀の角度で気持ちが伝わります。腹筋をしっかりと上体を支えながら、挨拶は15度、お礼は30度、謝る時なら45度が自然です。セミナーでは「おはようございます」の発声と共に挨拶の仕方を特訓しました。



答え:じょうじょう

■ビジネスの実践知識を学ぶ 企業研究キーワード

Vol. 8

WLB(ワークライフバランス)

多くの企業が真剣に取り組む始めたワークライフバランスとは、一言で言えば「多様な働き方の実現」。柔軟な発想で仕事と生活を両立させ、自分が持っている能力を存分に生かし、誰もが望む人生を生きていくことをめざす「働き方の変革」です。出産・子育てなど女性に特有なライフイベントへの配慮はもちろん、男性の育児休暇など、固定観念に縛られないシステム作りが模索されています。

■知っておきたい 時事問題講座

Vol. 8

選挙権年齢18歳以上に引き下げ

自民、民主、維新、公明など野党6党は選挙権を18歳以上にしようという公職選挙法改正案を、2015年3月6日、国会に再提出する方針で一致しました。成立は確実と言われており、早ければ2016年夏の参院選から適用され、約240万人が有権者に加わることになります。選挙権年齢の引き下げは、男性が25歳以上から20歳以上に引き下げられた1945年以来で、70年ぶりになります。

■読めるかな? 漢検に挑戦!

Vol. 8

茸茸

ヒント:夏草が...と生い茂る

答えは虎の穴道場の下